



# しおかぜ通信

八代市立郡築小学校  
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R7,3,2 No,38

郡築小ホームページ

## やつしろの笑顔・未来を創る児童生徒表彰で「特別賞」を受賞しました

令和8年2月24日(火)に八代市役所で行われました、「やつしろの笑顔・未来を創る児童生徒表彰式」にて、本校の6年生を中心とした有志によるボランティア清掃が「特別賞」を受賞しました。会には、代表として6年生1人が参加し、凛とした姿で賞状を受け取りました。

受賞の理由は、「5年生のときから2年間に渡り学校横の神社の落ち葉掃きなどの清掃を続け、地域の美化活動に大いに貢献した。」というものでした。「誰のため」ではなく、「誰かのため」に行い続けたこのボランティア清掃は、「究極の思いやり」であり大変価値ある行為だと思っています。この活動が継承されると共に拡大していくことを期待しています。

なお、このボランティア活動は、「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」においても「入賞」に選出されていることを併せてご紹介します。



「宮澤 章二」さんの詩「行為の意味」

「心」は誰にも見えない。けれど「心づかい」は見える。

「思い」は見えない。けれど「思いやり」は誰にでも見える。

温かい心が 温かい行為になり、優しい思いが優しい行為になるとき、「心」も「思い」も初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。

まさに、この子供たちの行為は、「心づかい」や「思いやり」であり、優しい心や人を気遣う思いをカタチにした行為でした。これからも心や思いをカタチにし続けて、周りの人を勇気づけるような子供を育てていきたいと思えます。

## 【食育】栽培・収穫した野菜を使った焼き菓子づくりを体験しました

令和8年2月17日(火)、4年生は、八代市内にある「焼き菓子工房 PLUM」の方を講師にお迎えし、栽培・収穫したホウレンソウを使った焼き菓子づくりに挑戦しました。

これは、食育の一環で、「食事の喜びや楽しみの理解」や「食物の恵みへの感謝」などを育てるために行ったものです。

子供たちは、「おいしくなあれ」「おいしくなあれ」と連呼しながら材料を混ぜ合わせる作業をしたり、焼き上がった菓子を美味しくしようとほおばったりして、終始楽しそうでした。また一つ、食べることへの興味・関心が高まったことと思います。講師を務めていただいた「焼き菓子工房 PLUM」の方には、ご多用の中にわざわざおいでいただき、誠にありがとうございました。

今年度は、25を超える関係機関と連携し、「食育」を推進してきました。その結果、子供たちの「食」に対する意識に変容が見られ大変嬉しく思っています。この変容については、後日お知らせします。



## 6年生を対象にした「交通教室」を行いました

令和8年2月19日(木)の5・6校時に、6年生を対象にした「交通教室」を、郡築駐在所員や交通安全協会、郡築校区交通指導員の方を講師にお迎えして行いました。

これは、中学進学を前に「広がる行動範囲に伴い拡大する危険に対する予測や適切な判断の能力を身に付けさせること」を目標に毎年卒業前のこの時期に行っているものです。

子供たちは、シュミレーターや、運動場で実際に自転車に乗りながら、正しい自転車の乗り方や自転車運転上の交通ルールなどを学んでいました。

ここでの学びを中学進学後の生活でも生かし、命を守る行動を取り続けてほしいと願っています。

ご多用の中にわざわざおいでいただき、子供たちに交通安全指導をしていただいた郡築駐在所や交通安全協会、郡築校区交通指導員の方々に心より感謝いたします。

